



施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		29 ごみの減量と適正処理
目的	対象	市民, 事業者
	意図	持続可能な社会の形成に向け, 3Rを推進する
施策の方向		広報, 啓発活動や支援事業の充実により, 市民・事業者による3R(リデュース=ごみの発生抑制, リユース=再利用, リサイクル=再資源化)の取組を推進します。また, 地球環境に配慮したごみの安定・適正処理に努め, 循環型社会, 自然共生社会, 低炭素社会の3つの要素が連携した持続可能な社会を目指します。

2-1 施策全体の考察①(施策の目的, 方向に対する考察)

<p>施策の目的, 方向に対する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な円安の影響や, 物価高騰などの影響から, 市民生活における節約志向が高まったことを背景に, 総ごみ量は大きく減少したと推察している。そのため, 令和8年度の成果目標値を大きく上回る結果となった。今後の経済動向を注視し, ごみ量の変化を的確に捉え, 引き続き, 3R推進によるごみ減量, 資源化に向けた積極的な情報発信による意識啓発を実施する必要がある。 ・廃棄物の適正処理に欠かせない中間処理場・最終処分場の安全・安定稼働の継続を図るとともに, 老朽化に伴う各リサイクル施設の更新に向け, 構成市として積極的に取り組む。また, 焼却灰の埋め立てゼロを堅持する。 ・社会インフラとしての廃棄物収集運搬事業の適正な体制整備を図る。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報, 啓発活動や支援事業の充実により, 市民・事業者による3Rの推進 ・地球環境に配慮した廃棄物の安定・適正処理 ・循環型社会・自然共生社会・脱炭素社会の3つの要素が連携した持続可能な社会の実現
--

2-2 施策全体の考察②(まちづくり指標の推移/考察)

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
市民1人1日当たりの総ごみ排出量	g	715 令和3年度	674 令和5年度	693 令和8年度	◎	1人1日当たりの排出量基準値比▲4.1g ・物価高騰などの影響から, 市民の節約志向の高まりによるごみ量の減 ・リバウンドによるごみ量増加に備え, 3R推進によるごみ減量, 資源化の情報発信と意識啓発の継続
最終処分(埋立)量	-	ゼロ 令和3年度	ゼロ 令和5年度	ゼロ 令和8年度	◎	・エコセメント化事業継続による焼却灰の埋立処分量ゼロの維持・継続

※ ◎: 目標達成 ○: 目標値を未達成(前年度より向上した) ▼: 目標値を未達成(前年度より低下した) ⇒: 目標値を未達成(前年度と同じ又は前年度数値未把握) - : 数値未把握(調査未実施など)

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

■29-1 3R推進によるごみの減量

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
94	【重点⑤】 ごみの減量と資源化	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営 ・3R推進によるごみ減量・資源化の広報・啓発 ・自主的なごみ減量・資源循環の取組支援 ・資源化の推進 ・環境教育の推進 ・プラスチック資源の循環促進 ・脱炭素に向けた取組の推進 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営(製品プラスチックの資源化検討) ・ごみ減量・資源化の広報・啓発(新たなデジタル技術を活用した情報発信) ・生ごみ処理機等補助金交付及び資源物集団回収奨励金交付 ・生ごみ資源化モデル事業の実施及び効果検証 ・市内保育園や児童館等への出前講座の拡充 ・小・中学生向けのザ・リサイクルジュニアの発行 ・製品プラスチックの資源化検討

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①基本計画と連動した一般廃棄物処理基本計画の推進 ②指定収集袋の仕様見直し ③リユース事業の推進 ④食品ロス対策	①一般廃棄物処理基本計画の重点取組事項に定めた6つの施策の進行管理と成果目標の達成 ②製品プラスチックの資源化の実施に合わせた指定収集袋の仕様見直し ③利再来留館の再開によるリユース事業の継続 ④庁内関係部署と連携した食品ロス対策の検討

■29-2 ごみの安定・適正処理

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
95	ごみの適正排出・適正処理の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・分別排出指導 ・ごみの適正分別 ・不法投棄対策 ・資源持ち去り禁止対策 ・ごみの適正処理 ・ふじみリサイクルセンター施設更新実施設計 ・エコセメント化施設更新実施設計 ・災害廃棄物処理計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・清掃指導員による適正な分別排出指導の継続 ・清掃指導員による重点パトロールによる不法投棄対策・資源持ち去り禁止対策の継続 ・資源物のリサイクル拠点となる調布市クリーンセンターの安定稼働 ・ふじみ衛生組合及び三鷹市と連携した、ふじみリサイクルセンター更新工事の推進 ・東京たま広域資源循環組合及び構成団体と連携したエコセメント化施設更新工事の推進 ・災害廃棄物処理計画に基づき、災害の種類、規模、被災状況を踏まえた実効性のある具体的な処理方法の検討

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①適正な収集運搬事業の継続	①将来の人口減少及びごみの減少を踏まえた、適切な収集運搬事業の体制検討

4 施策の推進，成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・3Rの推進に向けた啓発，ごみの適切な分別方法の周知のため，「ごみアプリ」の配信【令和5年度】 ・AIを活用した，ごみアプリに代わるデジタルツールの開発【令和5年度】	・廃棄物減量及び再利用促進員等と連携した，街の美化活動やごみ減量に向けた取組推進 ・市内の児童・生徒を対象としたごみ探検隊やごみ減量キャンペーンを通じた3R推進 ・製造メーカー，小売事業者等と連携した3Rの取組推進
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・更なる分別の促進 ・製品プラスチックの分別収集・資源化検討 ・指定収集袋の見直しやバイオマスプラスチック導入検討 ・企業（生産者）が取り組むペットボトルの水平リサイクル技術・システム活用に向けた検討 ・企業や市民等との連携・協働による食物残渣を活用した資源循環モデルの実証事業の実施	・ごみの分別意識の向上を図る意識啓発の継続 ・安定した収集運搬体制の維持継続 ・災害時における避難所機能の確保や災害廃棄物処理体制の強化に向け，ふじみ衛生組合リサイクルセンター及び東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設の施設更新